

## ベネズエラ大型製油所近代化プロジェクトを受注

2012年7月19日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社( TOYO、取締役社長 石橋 克基)は、フォスターウィラー社(FW)及びベネズエラのエンジニアリング会社であるワイ・アンド・ヴィ社(Y&V)と当社をリーダーとしたコンソーシアムを組み、ベネズエラ国営石油会社(PDVSA)が同国カラボボ州エル・パリート製油所で実施する製油所近代化案件の詳細設計・調達支援・工事監理に関する契約につき調印しました。

このプロジェクトは同国オリノコ油田地帯から豊富に産出される重質油を最大限利用する重質油対応原油処理設備(140,000BPSD)を新設、加えて既設(140,000 BPSD)からの製品も合わせ処理を行い、同製油所の生産能力を倍増するとともに製品品質を高め、ベネズエラ国内及び輸出向けの高まる環境基準・増加する需要に応えることを目的としています。

FW 及び Y&V とは、コンソーシアムにて基本設計(Front End Engineering Design: FEED)を遂行してきており、PDVSA との信頼関係の下、本契約締結に至ったものです。

現在、TOYO は同国で、製油所プロジェクト PMC 業務や肥料コンプレックス EPC 業務を Y&V とコンソーシアムにて実施中です。また、ベネズエラは世界一の原油確認埋蔵量を持ち、重質油・超重質油開発への投資が見込まれることから、TOYO は今後も、同国におけるエネルギー関連、石油化学関連のプロジェクトに対し積極的に営業活動を展開してまいります。

### プロジェクト概要

- 客 先: ベネズエラ国営石油会社(Petróleos de Venezuela, S.A.社(PDVSA)、本社:カラカス)
- 受注者: 東洋エンジニアリングとフォスターウィラー社(FW)、ワイ・アンド・ヴィ社(Y&V Ingeniería y Construcción, C.A.)による当社をリーダーとしたコンソーシアム
- 建設地: ベネズエラ・ボリバル共和国カラボボ州エル・パリート地区(首都カラカスから西に約 150km)
- 対象設備: エル・パリート製油所(140,000 BPSD)重質油処理設備 主要ユニットは以下  
常圧蒸留塔、減圧蒸留塔、水素化脱硫装置、連続触媒再生式接触改質装置、硫黄回収装置、水素発生装置、タンクヤード他付帯設備一式
- 役務内容: 詳細設計・調達支援・工事監理業務(EPsCm)
- 役務期間: 49.5ヶ月

<お問い合わせ先> 広報・IR 室 [担当:佐藤、深沢] Tel: 047-454-1113